

年 組 名前：

## 「おとう飯」町長サポート

### 昭和 町産食材 レシピ紹介

「おにぎらず」を作る塩沢浩町長(右)  
 〓 昭和町総合会館



昭和町の塩沢浩町長は、内閣府が男性の料理参加の促進を目的に推進している『「おとう飯」始めよう』キャンペーンのサポーターになった。内閣府の関連ホームページ(HP)で、同町産の食材を

使った芋煮汁のレシピを紹介している。

「おとう飯」について、内閣府は「簡単で手間を掛けず、多少見た目が悪くてもおいしい料理」と定義。町男女共同参画推進委員会が行っていた男性の料理教室が、コロナ禍で実施できない状況が続いているため、代わりの企画として取り組んだ。キャンペーン

は2017年に始まり、県内の市町村長で『「おとう飯」サポーター』としてHPに掲載されたのは初めて。

塩沢町長は活動の一環で同委員会のメンバーと芋煮汁を調理した。町内で採れたサトイモや長ネギのほか、ゴボウや豚肉などを煮込んだ。合わせて「おにぎらず」も用意。

町産のヒノヒカリを使い、サラダチキンと目玉焼きなどを挟んだ。HPでは「家族の大好物を食材にすれば、少々ぶかっこうでも栄養と愛情が詰まった逸品」と紹介している。

塩沢町長は「いつも作ってくれる人に感謝の気持ちが強くなった。腕を磨いて、みんなの笑顔の源になろうれしい」と話している。

〈杉原みずき〉

(2022年11月2日付 山梨日日新聞17面)

問1 『「おとう飯」始めよう』とは、何を目的としているキャンペーンですか。

.....

問2 内閣府での、「おとう飯」の定義を教えてください。

.....

問3 今回調理した「芋煮汁」と「おにぎらず」は、どのような料理でしたか。

・芋煮汁：.....

・おにぎらず：.....